2015 年 10 月 20 日

ニュースリリース

シリコンラボ、VoIP 市場の要求に応える次世代プログラマブル ProSLIC の新製品「Si32x8x」ファミリを発表

Si32x8x シングル/デュアル ProSLIC ファミリにより、顧客宅内設備コスト、基板サイズ、消費電力を削減

IoT（モノのインターネット）向けにマイクロコントローラ、センシングおよびワイヤレス・コネクティビティ・ソリューションを提供する大手メーカのシリコン・ラボラトリーズ（本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下: シリコンラボ）は、VoIP（Voice-over-IP）ゲートウェイ市場向けに最小クラスの消費電力、最小の基板面積、最高レベルの統合性およびプログラム性を実現した SLIC（加入者線インタフェース回路）の新製品「Si32x8x」ファミリを発表しました。シリコンラボのシングルおよびデュアルチャネル Si32x8x ProSLIC®ファミリは、ケーブル・ゲートウェイ、xDSL 統合アクセス・デバイス、xPON 光ネットワーク端末、FTTH（家庭との接続用光ファイバ）、FTTB（ビルディングとの接続用光ファイバ）、無線固定端末など広範な VoIP 顧客 CPE（顧客宅内設備）に対応する、クラス最高の加入者線インタフェース回路です。

Si32x8x ProSLIC と評価ボードは、現在ベータサンプルを出荷中で、一般向けのサンプルおよび量産出荷は 2016 年第一四半期を予定しています。シングルチャネル Si3218x の 1 万個時の単価は 1.58 米ドルからで、デュアルチャネル Si3228x の 1 万個時の単価は 2.12 米ドルからです。ProSLIC 評価キットの価格は 250 米ドルで、ドキュメント一式とシリコンラボ製の ProSLIC GUI ソフトウェアが付属しているため、ProSLIC デバイスのプログラミングと評価を簡単に行うことができます。Si32x8x ファミリの詳細や、サンプルに関するご注文については、www.silabs.com/ProSLIC をご参照ください。

一層高速のブロードバンドや新しいサービスが消費者に要望されるなか、VoIP 市場は主に FTTH/FTTB の新規導入や、既存の xDSL やケーブル・ゲートウェイのアップグレードに支えられ、年々着実に成長し続けています。シリコンラボは、2016 年の VoIP CPE 市場は SLIC ポート数で 1 億 6,000 万を超えると推定しています。サービス・プロバイダが、VoIP に新しい機能やサービスを追加し続ける一方で、CPE メーカは CPE 製品のシステムコストの削減と電力効率の向上という課題に直面しています。シリコンラボは、VoIP 市場向け SLIC ソリューションの大手メーカとして、CPE アプリケーションにおける BOM（部品表）、統合、低消費電力の要件を満たせるよう、市場で最先端の自社製 ProSLIC ポートフォリオを拡張してきました。

シリコンラボの最上位モデルである Si32x8x ProSLIC ファミリは、業界最高のコンフィギュアビリティを備えているため、小型のシングルチップ・ソリューションで、将来も使用可能な 1 チャネルおよび 2 チャネルの FXS（外部交換ステーション）テレフォニー・インタフェースを実現します。ProSLIC は、特許出願中の超低コスト静電容量式ブースト構成テクノロジをサポートする、柔軟性の高い統合されたトラッキング DC-DC コントローラを使用して、SLIC の消費電力を最小化します。Si32x8x は消費電力の削減に、シリコンラボの特許取得済み LRP（低電力リンギング）テクノロジと

超低消費電力（1 チャネルにつき 50 mW）のオンフック・モードも利用しています。デュアルチャネル ProSLIC では、特許出願中のスマート・リンギング・テクノロジも利用可能で、必要なピーク電流を標準で 300 mA 以上削減できるため、2 チャネルの CPE 設計で低コストの電力アダプタを使用できるようになります。これらのオンチップの革新的な機能は、この高度に統合された ProSLIC デバイスを市場で最も電力効率の高い SLIC 製品にすると同時に、競合製品と比較してシステムの BOM コストを大幅に削減します。

ProSLIC ファミリには、レベルシフタ/ドライバが組み込まれているため、入力電圧にかかわらず DC-DC コンバータのパワー・トランジスタに直結することが可能です。この革新的な機能により、競合する SLIC 設計で必要とされる個別の MOSFET プリドライブ回路が不要になるため、2 チャネル設計において外部デバイス 12 個分以上のコストと実装面積を削減できます。Si32x8x は主要な CPE SoC と接続でき、PCM/SPI または ISI デジタル・インタフェースを提供しています。Si32x8x ファミリは 3 線式 ISI インタフェースを使用して、シリコンラボの次世代 Si88x4x デジタル・アイソレータと組み合わせることで、業界で唯一の単一変圧器による絶縁型音声ソリューションを実現できます。

CPE メーカは、加入者から要求される機能のすべてを、小型で安価な製品設計に組み入れるという課題を抱えています。この実装面積の課題を解決するため、Si32x8x ファミリは業界で最小のシングルチャネル SLIC を提供しています。この SLIC は約 5 mm x 6 mm の QFN パッケージで提供され、デュアルチャネル・ソリューションも小型の 7 mm x 7 mm パッケージで提供されます。Si32x8x の BOM 実装面積は、各 FXS チャネルにつき 4.2 cm^2 で、業界で最も実装面積の小さい SLIC です。このデバイス・サイズにより、マルチライン CPE ゲートウェイとしてのチャネルあたりの BOM コストと実装面積は、一部の 4 チャネルおよび 8 チャネルの FXS ソリューションのチャネルあたりの実装面積と比べても、最小化されています。

シリコンラボで、アクセスおよび絶縁製品担当バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める Ross Sabolcik は次のように述べています。「シリコンラボは、VoIP 市場向けのプログラマブルな SLIC ソリューションの大手メーカとして、弊社の顧客に大きなコスト、電力、市場投入期間の利益をもたらすような ProSLIC の革新技術に対して投資し続けます。Si32x8x ProSLIC ファミリはまさに、CPE メーカが低コストで実装面積が小さく、エネルギー効率の高い次世代の VoIP ゲートウェイを開発するために必要としている製品です。」

シリコンラボは、Si32x8x ベースの設計を簡素化し、市場投入期間を短縮できるよう、包括的なハードウェア、ソフトウェア、リファレンス・デザインのサポートを提供します。ProSLIC API（アプリケーション・プログラミング・インタフェース）は、ProSLIC ポートフォリオのすべてに対応した共通のソフトウェア・ライブラリで、これにより ProSLIC デバイス用にシステム専用のソフトウェア・ドライバを開発する必要がなくなります。ProSLIC API には、サンプルの Linux®カーネルおよびユーザー空間デバイス・ドライバが含まれているため、開発期間をさらに短縮できます。この API では、外部的な障害を診断するためのメタリック・ループ・テストの豊富なセットと、診断をサポートするための内部的な自己テストのセットがサポートされています。リファレンス・デザインのハードウェアおよびソフトウェアのサポートは、VoIP ゲートウェイ機器向け SoC ソリューションを提供する主要なベンダから入手でき、設計の課題をさらに簡単に解決できます。

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ（略称: シリコンラボ、NASDAQ: SLAB、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com）

は、IoT（モノのインターネット）、インターネット基盤、産業オートメーション、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカです。シリコンラボは、エレクトロニクス産業の困難な課題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客さまにご提供します。ソフトウェア及びミックスドシグナル設計の分野で、卓越した技術力を有する世界クラスのエンジニアリング部門を擁することで、シリコンラボは製品開発に携わる皆さまに、初期構想から最終製品に至るまでのプロセス改善に必要なツールをご提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

＃＃＃

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: （米国）1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント http://twitter.com/silabs 公式 Facebook アカウント http://facebook.com/siliconlabs

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) http://jp.silabs.com

以上